明日へ向かって

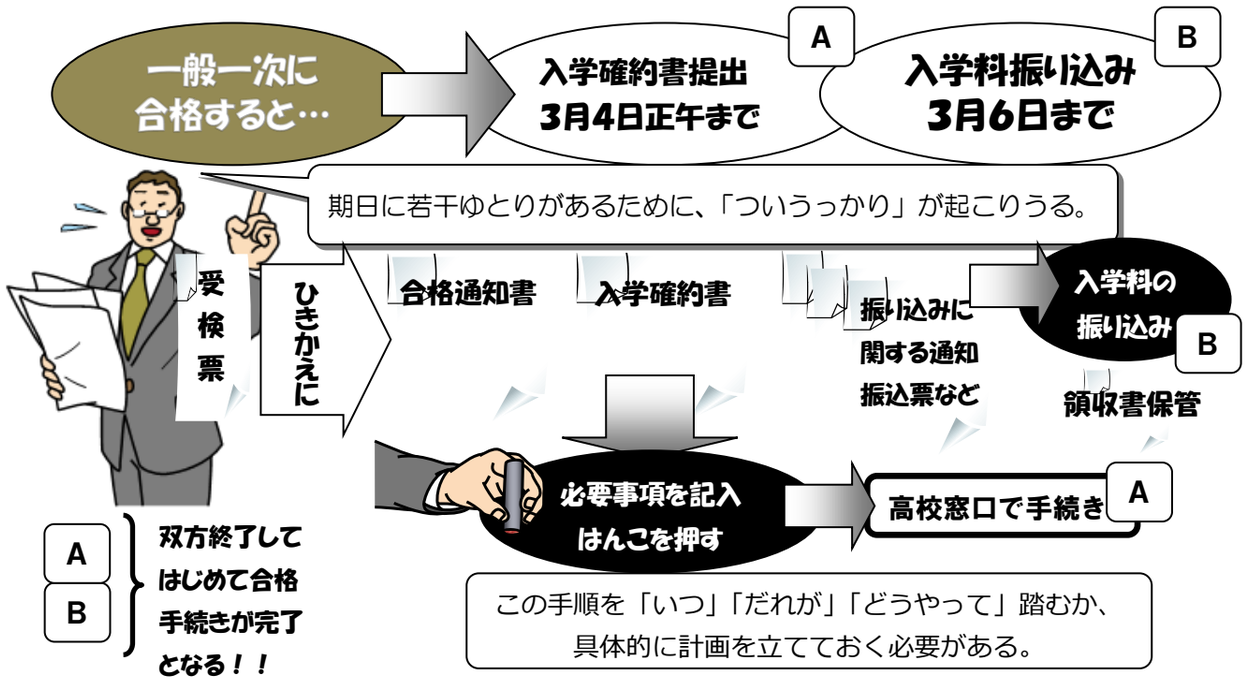
第３学年　学年だより
令和６年　２月２２日
第６６号

このあとの計画

　都立高等学校入学者選抜一般一次、お疲れ様でした。しかし、ここからは学年末考査に向けての勉強と今後の計画を確認しておかなければなりません。
「一般一次が終わったばかりなのに次のことなんて……」「学年末試験もあるのに」いろいろと思いはあるでしょう。それは分かります。こんなときは、割り切って考えることが必要です。
　日程を確認すると、都立一次発表後のタイトなスケジュールが具体的事実として突き付けられています。３月１日（金）の結果が出るまでなんにもしなかったら、結局、困るのはあなたです。次のことについて何の思案もない、策もないでは、結局具体的なアクションはなにも起こせないのです。これは、受かった場合も残念だった場合にも言えることです。

●合格した場合

　例年、東京都内では、「合格発表後、期日内に手続きをしなかった」「手続きはしたが入学料を納めていなかった」など受検者側の不備によって「合格取り消し」の措置が適応され、東京都教育委員会に相談が持ちかけられた例が複数件あります。しかもこの数は１ケタではありません。またこれらの原因のほぼ全件が「ついうっかり」です。手続き上の作戦を具体的に立てず、往きあたりばったりで合格発表に臨むと、この危険性は格段に上がります。



とにかく「準備」は必要です
テスト勉強＋都立の今後の計画を！

●来週（２月２６～２９日）は「考え、作戦を立てる週」

●合格しなかった場合

　今の時期、試験が終わったばかりで、残念な結果を想像したくないのは百も承知です。しかし、関係者全員がだれもこのことに触れなかったとしたらどうなるでしょうか。
　感情論とは別に、「試験である以上は、合格の場合もあるし不合格の場合もある」という不変の事実を冷静に受け止める必要があります。考えたくないといって考えなかったら、結局困るのは自分自身です。

私立等の押さえがある人

- 押さえの学校の手続きに関する事柄をもう一度確認する。
- 「だれが」「いつまでに」「どのように」手続きをするのか、具体的に決めておく。

※３月２日、３日が土日であること（金融機関関係）に注意して計画する。

押さえがない人

（１）私立の二次募集や、専門・専修学校、通信・サポート校などを考える方法

私立二次募集
①わりと多くの私立高校が二次募集を出している。
②ただし、学力試験があるため、合格するかどうかは実力次第となる。
③ＨＰなどですでに二次募集を行う私立高校を発表している。

専門･専修学校
①基本的に枠はある。
②自分の目的に合った学校を探すことが重要。
③ただし、私立高校以上にお金がかかることを考える必要がある。
④専門色が強いため、進学後のことも考えておく。

通信･サポート校
①基本的に枠はある。
②専門・専修学校よりも、普通科に近い学習内容。大学進学も可能。
③専門・専修学校以上にお金がかかる。ただし、最近では授業料免除や無利子無担保の奨学金制度などが充実しつつある。
④完全な通信は、高校卒業の資格を得られる単位を必要数修得するまでの学習を独学することになり、強固な意志が必要。

（２）都立一本で、二次・後期、その後の定時制二次まで考える方法

言うまでもなく、都立の二次募集はほとんど出ないのが現状です。次に分割後期募集を行う都立高校を考える場合ですが、当然のことながらそこに出願する人は、もともと分割後期を考えていた人ばかりではありません。狭き門に多くの人数が集まることは避けられません。そして押さえておかなければならない点は、この場合も「試験である以上は合格の場合もあるし不合格の場合もある」という点であり、試験に合格するためには、勉強しなければならないということです。

「都立一本で行きます。だめだったら分割後期も受けます。それでもだめなら、定時制二次も……」と三者面談で考えを拝聴した人もいると思います。ただし、そのように「考えている」ということと、実際にアクションを起こすことは、全くの別物です。

受けるためには、志望校を確定させなければなりません。願書を作成し、受験料を振り込み、担任の先生と相談して調査書を書いてもらう手続きをする……一般一次で行ったことをもう一度そっくり繰り返す必要があります。

土日をはさむ日程のため、３月１日の時点ではじめて悩み、受験料を振り込んで、願書を書き始めて……はたして間に合うでしょうか。３月１日までアクションを起こさないのであれば、全てに一度の失敗もなくスムーズに、そして極めてスピーディーに行うことが求められます。

今後の予定

２６日（月）	学年末考査１日目　①英語　②国語　③保体
２７日（火）	学年末考査２日目　①理科　②社会　③音楽
２８日（水）	学年末考査３日目　①数学　②美術　③技家
２９日（木）	１・２年領域診断テスト
１日（金）	都立一般一次合否発表・手続き　⑥カット　生徒委員会